

つや消 防カビ 防藻 断熱 弾性 透湿 防水

湿式外断熱躯体保護防水仕上材

ドリームコート

STANDARD PATTERNS & COLORS

DREAM COAT

防水 [water]

外断熱塗料「ドリームコート」は
外からの雨水に対しても、
従来品以上の防水機能があります。



季節に、 左右されない 3つのチカラ。

透湿 [damp]

外断熱塗料「ドリームコート」のメリットは、
壁内空間の結露発生が
緩和される事です。



断熱 [heat]

外断熱塗料
「ドリームコート」は、
熱を従来の単層弾性材の
5分の1程度しか伝えません。
(当社比)



ドリームコートは、落着きのあるシックな風合いを醸し出します。

弾性力の違いを比べて下さい。



ドリームコート(KP-133)
(多孔質ローラー)



単層弾性つや消(KP-133)
(多孔質ローラー)

仕上り感を比べて下さい。



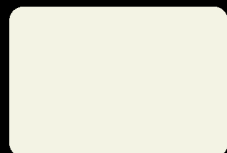
ドリームコート(KP-337)
(吹き付け)



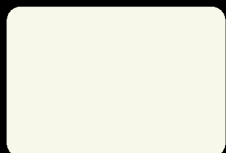
吹き付けタイルつや有(KP-337)

■提案色見本

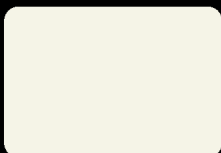
近年の流行色を厳選した、カラーバリエーションにしております。



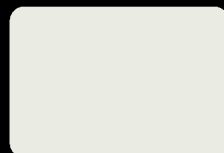
▲KP-111



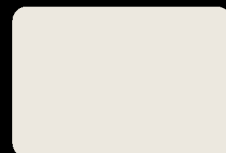
▲KP-110



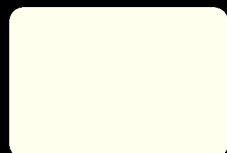
▲KP-112



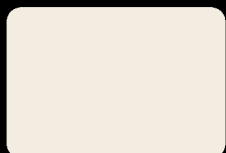
▲KP-223



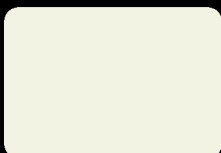
▲KP-221



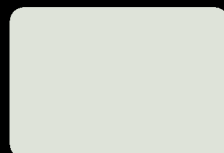
▲KP-310



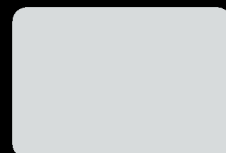
▲KP-127



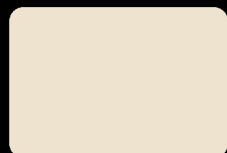
▲KP-121



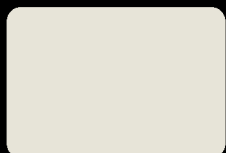
▲KP-133



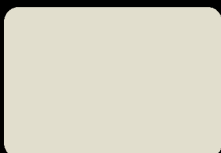
▲KP-80



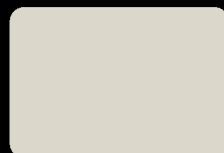
▲KP-337



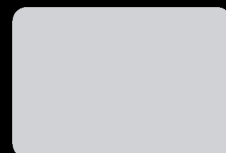
▲KP-120



▲KP-131



▲KP-141



▲KP-247



▲KP-330



▲KP-336



▲KP-147



▲KP-350



▲KP-75



▲KP-356



▲KP-357



▲KP-150



▲KP-352



▲KP-70

●この色見本は紙に塗装していますので、実際の色・ツヤが多少異なる場合があります。予めご了承ください。

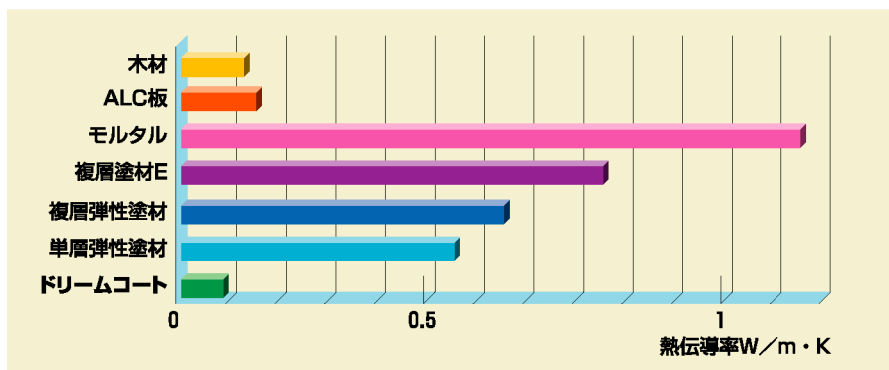
比べてみよう DREAM COAT

外断熱塗料「ドリームコート」は、熱を従来の単層弾性材の約5分の1しか伝えません。(当社比)
雨水に対しても、防水機能が威力を発揮します。
また、壁内結露の発生緩和が期待できます。

1.熱伝導率とは何ですか？

熱の伝わりやすさを数値化したものを熱伝導率といいます。
熱伝導率の数値が小さければ小さいほど熱を伝えにくく断熱性が高いことを示します。

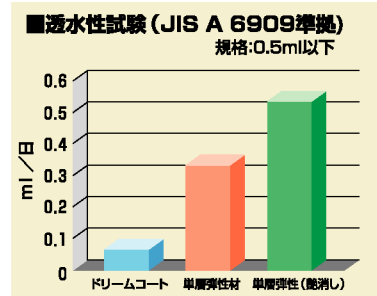
●熱伝導率の比較



2.防水性はどうですか？

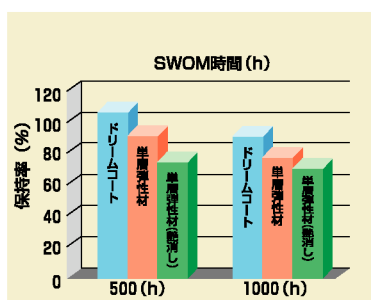
外からの雨水に対して従来品以上の防水機能がありますので、安心してご使用いただけます。

●防水性の比較 ～1日の透水量(ml/日)



3.弾性保持率が高いメリットとは？

弾性効果が長期に亘り持続するので、ひび割れ追従性に優れます。



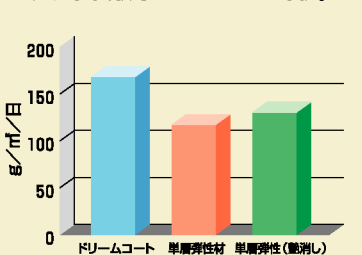
4.透湿性は良いですか？

断熱性能と高い透湿性能との相乗効果により、従来品以上の壁内結露緩和が期待できます。

●透湿性の比較

透湿性試験 (JIS Z 0208準拠)

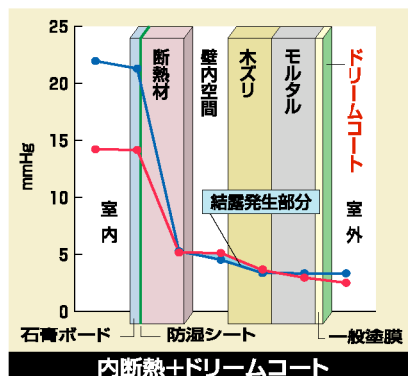
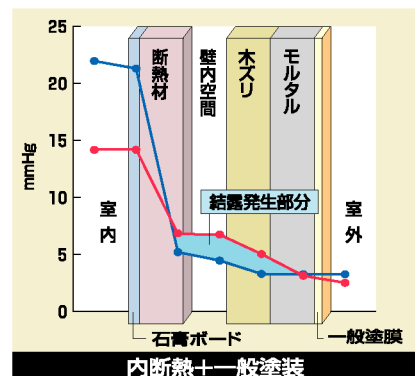
■透湿性試験 (JIS Z 0208準拠)



5.内断熱工法(RC造)や充填断熱工法(木造)の性能を補強。

●壁内結露について

結露は空気中の水分(水蒸気)が凝集する現象です。空気中に許容できる水蒸気の濃度は温度によって決まり、温度を下げていくとある温度で結露を始めます。その温度を露点と言い、部屋の中で露点以下の冷たいコップを置くとその表面に細かい水滴が見られることで結露現象を確認することができます。



●飽和水蒸気圧 ●各部水蒸気圧 ※各部位における水蒸気圧が飽和水蒸気圧を超えると結露が発生する

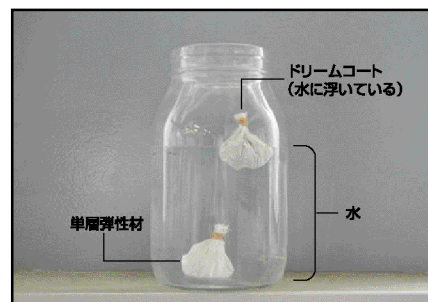
Point!

内側断熱の弱点である壁内結露の発生を低減させる事により、構造木材を水分から守り、壁内断熱材の含水によるスリ落ち等を軽減します。

6.超軽量！

従来品では考えられない超軽量塗料で作業性も良く建物への負荷も軽減できます。

●重さの比較実験



標準塗装仕様 ローラー仕上げ

工 程			塗料・処置	塗装回数	標準所要量※ (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1	素地調整	新 設	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去・清掃し、(pH10以下、含水率8%以下とする。)					
		塗 替	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な補修を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。					
2	※	下 塗	エコカチオンシーラー	1	0.13	2時間以上7日以内	ローラー エアレス	無希釈
					0.17			
3		上塗(1回目)	ドリームコート 上水	1	0.7～1.0	4時間以上	多孔質ローラー	0～5
4		上塗(2回目)	ドリームコート 上水	1	0.7～1.0	—	多孔質ローラー	0～5

※標準所要量は、被塗物の形状や素材・塗装方法・環境などによって、増減することがあります。②塗替時の下塗には「アレスホルダーGⅡ」「アレスホルダーZ」なども適用可能です。
詳細は最寄りの営業所にお問合せください。

標準塗装仕様 吹付け仕上げ

工 程			塗料・処置	塗装回数	標準所要量※ (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1	素地調整	新 設	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去・清掃し、(pH10以下、含水率8%以下とする。)					
		塗 替	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な補修を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。					
2		下 塗	エコカチオンシーラー	1	0.13 0.17	2時間以上7日以内	ローラー エアレス	無希釈
3		上塗(ベース吹)	ドリームコート 上水	1	0.8～1.1	4時間以上	タイルガン 口径6mm	2～5
4		上塗(パターン吹)	ドリームコート 上水	1	0.75～1.0	—	タイルガン 口径6～8mm	0～3

※標準所要量は、被塗物の形状や素材・塗装方法・環境などによって、増減することがあります。
注)低温時(5℃程)にはエコカチオンオンシーラーとドリームコートのインターバルは24時間以上空けてください。

つやあり仕上げにする場合は、ローラー仕上げ・吹付け仕上げともに以下の工程を行ってください。

工 程			塗料・処置	塗装回数	標準所要量※ (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
5 6		上塗(3～4回目)	アレスアクアシリコンACⅡ 上水	2	0.13	2時間以上	ローラー	5～10
					0.16		エアレス	5～10

※上記「アレスアクアシリコンACⅡ」以外に「アレスアクアレタン」「コスモシリコン」「コスモレタン」なども適用可能です。

■品名・容量

下塗・・・エコカチオンシーラー(透明) 15kg

上塗・・・ドリームコート 14L(比重0.7)

調色範囲:淡彩色 ※中彩色については一部適用可能です。最寄りの営業所にお問合せください。

■施工上のポイント

- 1) 新設のセメントモルタルやコンクリート面は、含水率8%、pH10以下になるまで乾燥させてください。
- 2) 塗替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどでぜい弱な塗膜を除去し、高圧水洗を行ったのち1日乾燥後、塗付してください。
- 3) 気温5℃以下、湿度80%以上、また、降雨・降雪・強風が予想される場合は、塗装を中止してください。
- 4) 旧塗膜がスタッコのような場合は、各工程の塗料を充分に塗り込んでください。
- 5) 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。
旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- 6) ぜい弱な下地などには浸透形シーラーを使用してください。
- 7) シーラーの吸い込みが著しい場合には、再度シーラーを増し塗りしてください。
- 8) 開缶後、放置する場合には皮が張らないようにポリエチレンシートなどを用いて、密閉してください。
- 9) 乾燥すると養生テープを剥がしにくくなりますので、塗膜が乾燥する前に養生テープを剥がしてください。乾燥後に養生テープを剥がす場合にはカッターなどでカットした後、テープを取り外してください。
- 10) つや有仕上げ時に、溶剤系・弱溶剤系上塗塗料は使用できません。
- 11) 金属サイディング面及び弾性スタッコ面の塗替えには使用できません。
- 12) 本品は屋根への適用はできません。
- 13) 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

■予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本品の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗眼・手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■対 応

目 に入 っ た 場 合 : 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸 入 し た 場 合 : 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲 み 込 ん だ 場 合 : 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

■塗装時の注意事項

- 容器内表面に皮張り防止液(引火性)が浮いていますので、使用前には必ず動力攪拌機で十分攪拌してください。
- 直射日光下での材料保管は絶対に避けてください、また通常時の保管もブルーシートをかける等ご配慮ください。

- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンギ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道販売部 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北販売部 TEL(022)267-2721 FAX(022)288-7073
北関東信越販売部 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京販売部 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪販売部 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国販売部 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国販売部 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州販売部 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご利用は